

# 令和4年（2022年） 10月1日から 太陽光発電施設は 景観法による届出が必要と なります

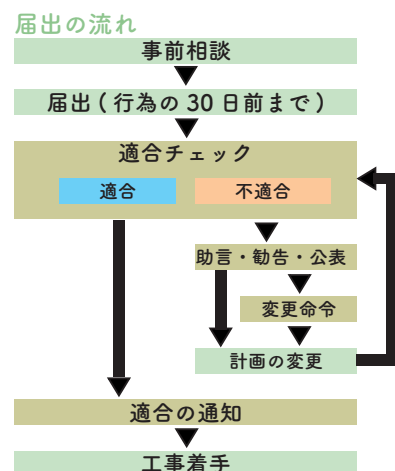


これまででも一定の建築行為等（建築物や工作物等の新築、増築、改築、外観の変更等）を行う場合は、景観法第16条に基づく届出が必要でしたが、今回、太陽光発電施設についても届出対象に追加しました。

各種届出の種類に応じた対象物並びに行為の種類については、熊本市景観計画をご確認ください。



熊本市景観計画



熊本市では、景観法に基づく熊本市景観計画及び景観条例施行規則に、太陽光発電施設を届出の対象工作物として位置づけ、国などが推進するエネルギー政策と調和のとれた良好な景観形成を目指します。  
（令和4年（2022年）10月1日から届出開始）

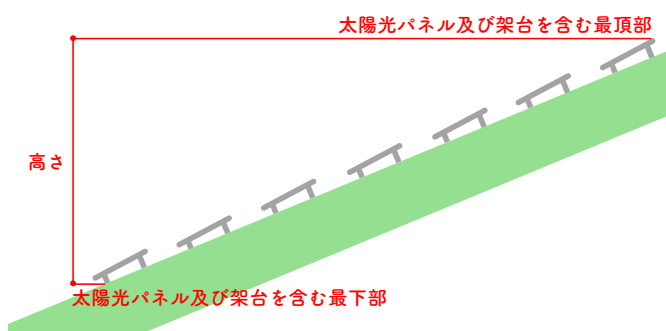
# 新たに景観法に基づく届出対象となる太陽光発電施設の規模・地区

大規模な太陽光発電施設や景観上重要な地区で一定規模以上の太陽光発電施設を設置する場合には、景観形成基準（周辺の基調となる景観との調和を図る基準）に適合するよう届出を行っていただくことで、良好な景観形成を誘導します。

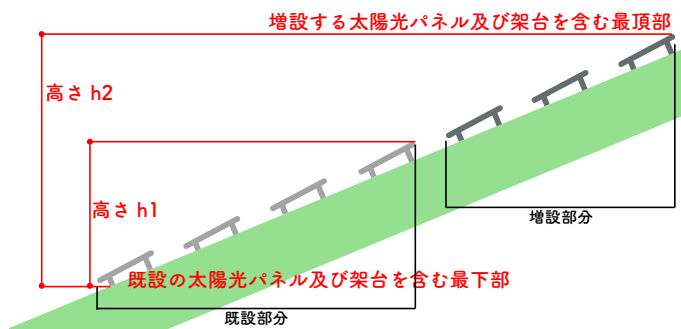
| 対象物     | 太陽光発電施設                            |                                   |                      |
|---------|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------|
| 届出種類    | 大規模行為届出                            | 特定施設届出地区行為届出                      | 景観形成地区行為届出           |
| 対象範囲・規模 | 市全域                                | 幹線道路の沿道の区域<br>(18路線)              | 熊本空港周辺<br>(東部環境工場近辺) |
| 対象規模    | 高さ 12m<br>または<br>土地面積 1,000㎡を超えるもの | 高さ 1.5m<br>または<br>土地面積 100㎡を超えるもの |                      |

## 届出が必要な規模の考え方

### 新設する場合の高さの考え方（斜面）



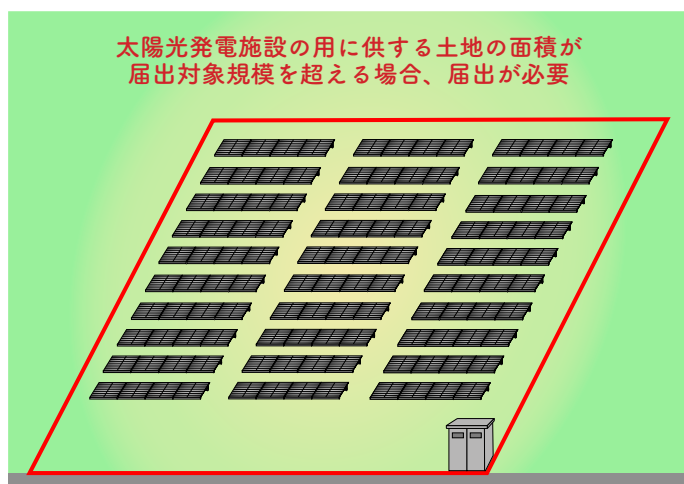
### 増設する場合の高さの考え方（斜面）



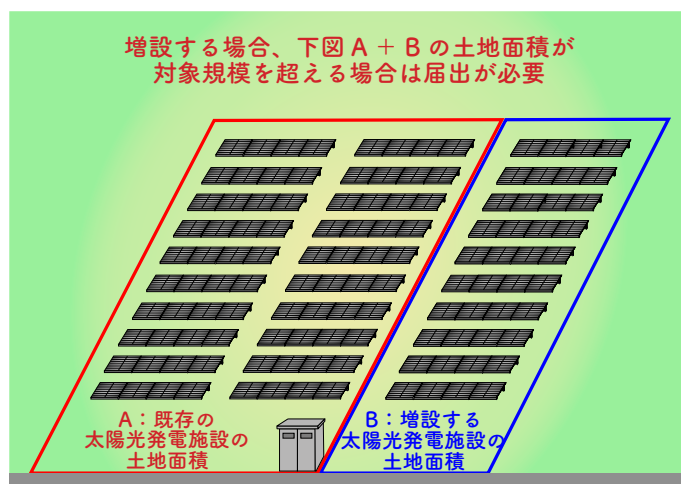
斜面に設置する場合の高さの取り方は、最も低い位置に設置する太陽光パネル及び架台を含む最下部から、最も高い位置に設置する太陽光パネル及び架台を含む最頂部までの高さです。

増設する場合、右図 高さh2が届出対象規模を超える場合は届出対象となります。

### 新設する場合の土地面積（敷地）の考え方



### 増設する場合の土地面積（敷地）の考え方



- ・太陽光発電施設を設置する土地面積（敷地）が届出規模を超える場合、届出が必要となります。
- ・土地面積は、太陽光パネルのみの面積だけではなく、太陽光発電施設の附属施設（パワーコンディショナー、電力量計、塀、柵等）及びパネル間隔（メンテナンススペース等）を含めた面積となります。
- ・増設の場合、既存の土地面積に、増設する土地面積を足し合わせた面積が届出対象規模を超えると届出が必要となります。

## 景観法に基づく届出が必要な規模・地区の考え方（既存建築物に設置する場合）

既存建築物に太陽光発電施設を設置する場合、太陽光発電施設は建築設備にあたるため、「建築物の一部」としての扱いとなっております。

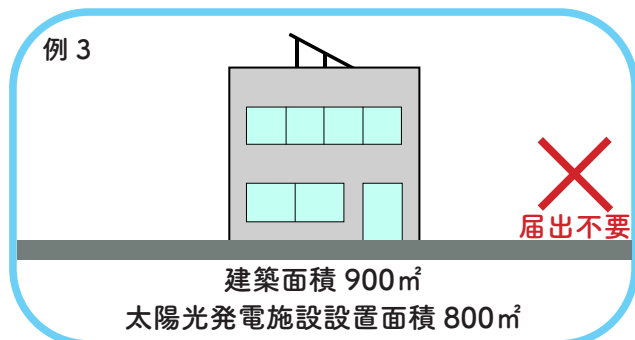
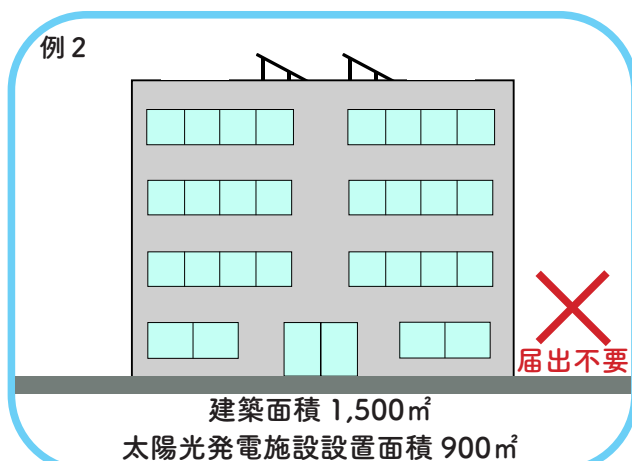
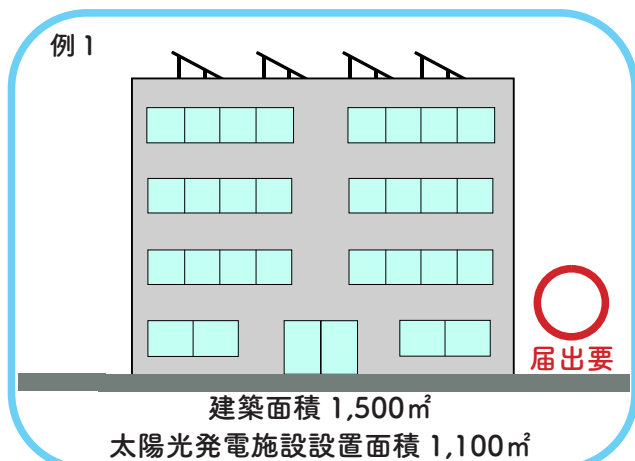
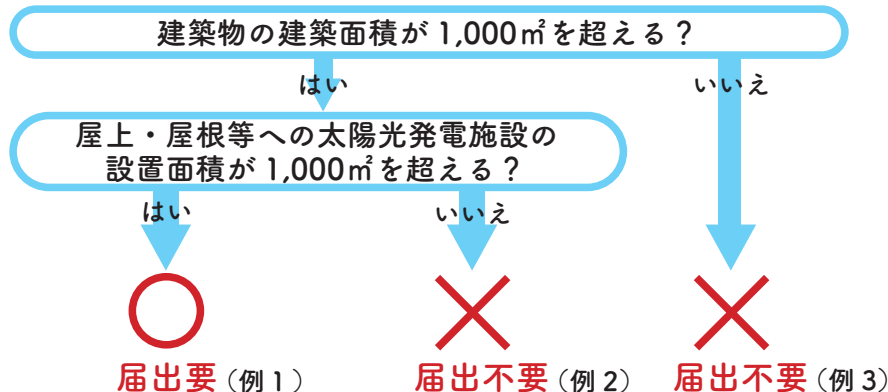
下図に示す届出要となる場合は、「建築物の外観の変更」として、届出をお願いします。

### 大規模行為届出（既存建築物の外観の変更）の届出が必要な場合

①、②のいずれかに該当する場合は、届出が必要です。

①建築物に1,000㎡以上の太陽光発電施設を設置する場合（下図フローの通り）

②既存建築物の高さが12m以下で、太陽光発電施設を設置した場合に建築物の高さが12mを超える場合（詳細はご相談ください）

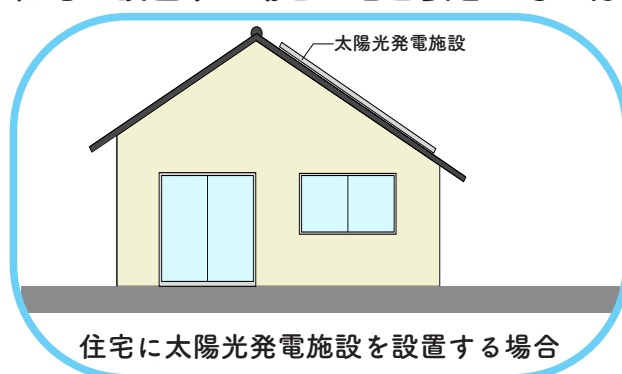


#### 注意点

建築物で新築等（新築、増築、改築、移転）に太陽光発電施設を設置する場合、大規模行為届出の行為の種類と対象規模は、従来通り下表の通りとなります。

| 対象物 | 行為の種類                                 | 対象規模                    |
|-----|---------------------------------------|-------------------------|
| 建築物 | 新築、増築、改築、移転又は外観の変更（修繕若しくは模様替え又は色彩の変更） | 高さ12m又は建築面積1,000㎡を超えるもの |

### 住宅に設置する場合の届出要否の考え方



熊本空港周辺  
景観形成地区で  
太陽光発電施設を  
10㎡超えて設置する？

はい → 届出要

いいえ → 届出不要

熊本空港周辺景観形成地区では建築物の用途を限定していない為、用途が「住宅」の場合でも、太陽光発電施設の設置面積が10㎡を超える場合は届出が必要となります。

特定施設届出地区では、建築物の用途を特定施設に限定しております。そのため、住宅の場合は届出不要となります。

特定施設については、熊本市景観計画を参照ください。





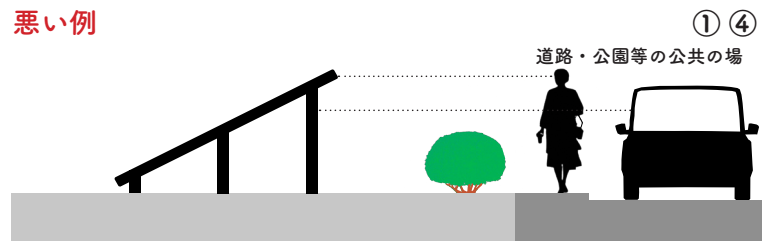
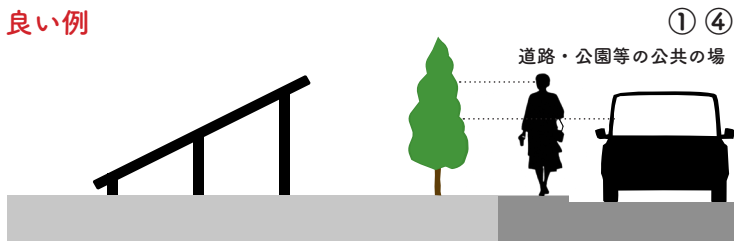
## 景観形成基準（太陽光発電施設に関する事項を抜粋）

太陽光発電施設を設置される場合は、下表に関する景観形成基準に基づき景観への配慮をお願いします。

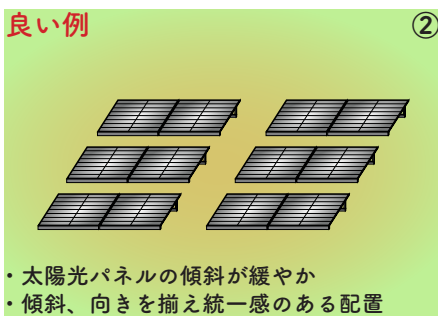
| 種類                       | 大規模行為届出                                                                                                                                                                            | 景観形成地区行為届出                                                                                                       | 特定施設届出地区行為届出 |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| ①<br><br>高さ              | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 高さを抑え、周辺からの突出を避けること</li><li>・ 設置面から高さ 2m 以上の太陽光発電施設については、周辺からできるだけ見えないような位置とするとともに、そのための処置を施すように努めるものとする</li></ul>                         |                                                                                                                  |              |
|                          | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 景観計画に定める視点場からの眺望に配慮した位置とし、著しい景観支障とならないようにすること</li></ul>                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 周辺の主要な道路、公園または家等に隣接した場所において、敷地の境界からできるだけ後退した位置とすること</li></ul>            |              |
| ②<br><br>形態              | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 太陽光パネルの傾斜をできるだけ緩やかにし、向きを揃えるなど、統一感のある配置とすること</li></ul>                                                                                      |                                                                                                                  |              |
| ③<br><br>色彩・材料           | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 太陽光パネルは、黒系統色等の暗色を基調とし、架台等の附属施設も含め、全体として周辺の景観と調和した色彩とすること</li><li>・ 太陽光パネルの材質は低反射性のもの、または防眩処理等を施したものを使用すること</li></ul>                       |                                                                                                                  |              |
| ④<br><br>敷地の緑化           | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 敷地内は極力緑化に努めること</li><li>・ 既存の樹木がある場合には、修景に生かすよう配慮すること</li><li>・ 伐採により樹木の連続性を無くさないこと</li><li>・ 地域に見合った樹種を選定する等、周辺環境や景観に配慮した緑化を行うこと</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 敷地の周囲等の緑化に努めること※</li><li>・ 地域に見合った樹種を選定する等、周辺環境や景観に配慮した緑化を行うこと</li></ul> |              |
| ※柵、塀等の緑化や周辺の樹木の保存などを示します |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                  |              |

※柵、塀等の緑化や周辺の樹木の保存などを示します

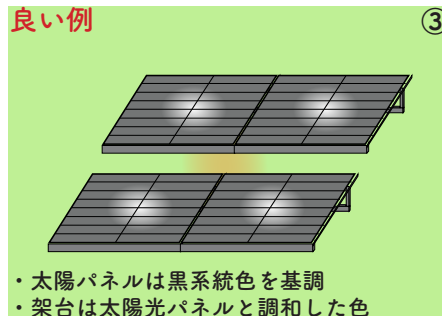
良い例



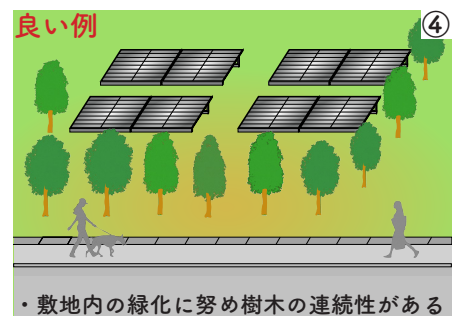
良い例



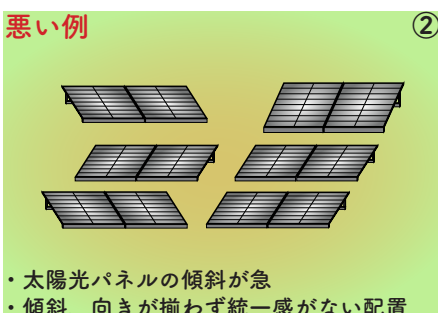
良い例



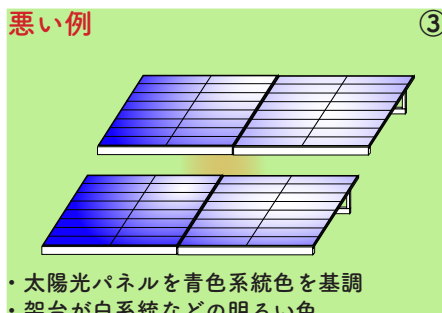
良い例



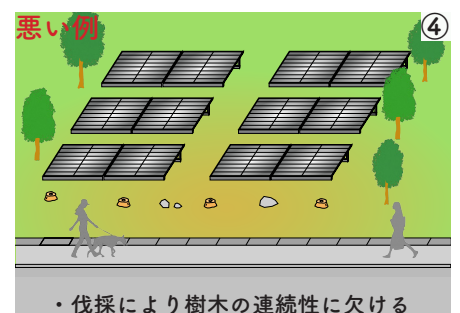
悪い例



悪い例



悪い例



※営農型太陽光発電施設については、農作業等を行う上で必要な高さを制限するものではありません。また、農地についても上記の景観形成基準と同様に、敷地を保全するなど景観の保全に努めてください。

## 良好な景観形成のための配慮事項（チェック項目✓）

### 高さ

- ☐ ①高さを抑え、周囲からの突出を避けた
- ☐ ②設置面から高さ2m以上の太陽光発電施設については、周辺からできるだけ見えないような位置とするとともに、そのための処置を施すように努めた
- ☐ ③景観計画定める視点場からの眺望に配慮した位置とし、著しい景観の支障とならないようにした（大規模行為届出の場合）
- ☐ ④周辺の主要な道路、公園または家等に隣接した場所において、敷地の境界からできるだけ後退した位置とした（景観形成地区、特定施設届出地区の場合）

### 形態

- ☐ ⑤太陽光パネルの傾斜をできるだけ緩やかにし、向きを揃えるなど統一感のある配置とした

### 色彩・材料

- ☐ ⑥太陽光パネルは、黒系統色等の暗色を基調とし、架台等の附属施設も含め全体として周辺の景観と調和した色彩とした
- ☐ ⑦太陽光パネルの材質は低反射性または防眩処理等を施したものを使用している

### 敷地の緑化

- ☐ ⑧敷地内の緑化に極力努めた（大規模行為届出の場合）
- ☐ ⑨既存の樹木がある場合、修景に生かすよう配慮した（大規模行為届出の場合）
- ☐ ⑩伐採により樹木の連続性を無くしていない（大規模行為届出の場合）
- ☐ ⑪敷地の周辺等の緑化に努めた（景観形成地区、特定施設届出地区の場合）
- ☐ ⑫地域に見合った樹種を選定する等、周辺環境や景観に配慮した緑化を行った

## よくある質問 Q&A

**Q1**：景観法による届出は、いつまでに届出をするとよいですか。

**A1**：届出を要する行為をしようとする30日前までに届出が必要です。

**Q2**：農地に営農型太陽光発電施設を設置する場合の土地面積（敷地）はどのように考えますか。

**A2**：営農型太陽光パネル、付属施設（パワーコンディショナー、電力量計、柵、塀等）及びパネル間隔（メンテナンススペース等）を含めた面積を土地面積として扱います。

#### お問い合わせ先

熊本市 都市建設局 都市政策部 都市デザイン課  
（熊本市役所本庁舎11階）

TEL：096-328-2508 FAX：096-351-2182

Mail：toshidesign@city.kumamoto.lg.jp

URL：https://city.kumamoto.jp/